

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年3月28日

計画の名称		光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち（魅力あふれる都市空間整備）																			
計画の期間		平成25年度 ～ 平成27年度 （3年間）				交付対象		豊川市													
計画の目標																					
		大目標：安全・安心で住みたくなるまちづくり 目標1 安全・安心に暮らし続けられる生活環境づくり 目標2 魅力あふれる都市空間の形成																			
計画の成果目標（定量的指標）																					
		・土地区画整理事業の実施により、地区内の人口の増減率を0.9（減少傾向）から0.95（減少傾向の改善）へ引き上げる ・社会資本整備の実施により、地区内の「安全・安心」分野に関する市民満足度を+3.2ポイントから+3.5ポイントへ増加させる ・社会資本整備の実施により、地区内の「建設・整備」分野に関する市民満足度を+0.6ポイントから+0.8ポイントへ増加させる																			
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考									
									当初現況値 (H25当初)					中間目標値 －		最終目標値 (H27末)					
		豊川一宮地区における人口の増減率							0.9			－		0.95							
		市民意識調査の内、安全・安心分野（交通安全対策等）に係る市民満足度の合計値							+3.2ポイント			－		+3.5ポイント							
		市民意識調査の内、建設・整備分野（住環境の整備等）に係る市民満足度の合計値							+0.6ポイント			－		+0.8ポイント							
全体事業費		合計 (A+B+C)		561百万円		A		561百万円 (うち提案事業分122 百万円)		B		0 百万円		C		0 百万円		効果促進事業費の割合 (A (提案分) +C) / (A+B+C)		21.7%	
事後評価																					
○事後評価の実施体制、実施時期																					
事後評価の実施体制										事後評価の実施時期											
										・平成29年2月											
・関係各課で構成される庁内評価組織により、数値目標の達成状況や効果発現について検証及び分析を行う。										公表の方法											
										・都市計画課窓口及び市ホームページに掲載し公表する。											
1. 交付対象事業の進捗状況																					
交付対象事業																					
上段(計画) 下段(実施)																					
A1 基幹事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)		市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考				
											H25	H26	H27	H28	H29						
1-A-1	都市再生 整備計画	一般	豊川市	直接	豊川市	豊川一宮地区都市再生整備計画事業		道路、公園、土地区画整 理事業等		豊川市						561					
																561					
小計 (都市再生整備計画事業)																561					
B 関連社会資本整備事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名		事業内容 (延長・面積等)		市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
												H25	H26	H27	H28	H29					
合計																					
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考			

C 効果促進事業																備考
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	
										H25	H26	H27	H28	H29		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・一宮大木土地地区画整理事業の進捗が図られ、良好な市街地が形成されつつあり、人口定着に寄与している。 ・一宮大木工業団地周辺の基盤整備により、周辺のアクセス向上が図られた。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（豊川一宮地区における人口の増減率）	最終目標値	0.95	目標値と実績値に差が出た要因	一宮大木土地地区画整理事業の実施により本地区の基盤整備により良好な市街地が形成されつつあることから、人口の増減率は目標値を達成しており、地区内の定住促進に寄与している。
		最終実績値	0.97		
	指標②（市民意識調査の内、安全・安心分野（交通安全対策等）に係る市民満足度の合計値）	最終目標値	+3.5ポイント	目標値と実績値に差が出た要因	安全・安心分野全体の市民満足度が向上しているが、大木工業団地周辺の道路や一宮幸公園、地域防災施設等の整備により交通安全対策や防災対策に対しての満足度が特に向上している。今後も、一宮大木土地地区画整理事業や道路、公園の整備を推進し、更なる満足度の向上を目指す。
		最終推計値	+3.6ポイント		
	指標③（市民意識調査の内、建設・整備分野（住環境の整備等）に係る市民満足度の合計値）	最終目標値	+0.8ポイント	目標値と実績値に差が出た要因	大木工業団地周辺の道路や一宮幸公園、地域防災施設を整備したが、建設・整備分野全体の市民満足度が目標値に至らなかった。道路の整備状況についての市民満足度が低下したため、今後は一宮大木土地地区画整理事業や道路の整備を推進し、満足度の向上を目指す。
		最終推定値	+0.3ポイント		
Ⅱ-2 その他の数値指標 （設定した定量的指標以外の指標）による効果発現状況	その他指標② （土地地区画整理地区内の住宅戸数の増加）	従前値	0戸	効果発現要因	一宮大木土地地区画整理事業地内を含む一宮西部小学校区の人口は増加しているが、隣接する一宮東部小学校区や一宮南部小学校区は減少しており、一宮大木都市区画整理事業の進捗に伴う住宅戸数の増加は、豊川市立地適正化計画に規定する都市機能誘導区域の定住人口の増加に寄与している。 ※一宮大木土地地区画整理事業地内の土地地区画整理法76条申請の件数（地区内の移転・建替等を除く）
		実績値	49戸		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・一宮大木工業団地は分譲地が完売しており、各企業の操業による雇用者の増加や経済の活性化が期待できる。			

3. 特記事項（今後の方針等）

・第6次豊川市総合計画が平成28年度から実施されるため、社会資本整備分野における実施計画として、社会資本総合整備計画を策定し、総合計画の目標に資する事業として実施することで、定住人口及び交流人口の増加を目指す。このため、都市再生整備計画の残りの期間は、平成28年度から始まる社会資本総合計画“光・緑・人 輝くとよかわ（基盤整備による定住・交流促進計画）”において実施することとする。